

みんなであらいや!

まちづくり活動報告(第24回)



▲手巻き寿司に挑戦

和やかに

「学びの里 甲川まつり」

11月17日(日)、学びの里 甲川(旧上山保育所)で「つどう、にぎわう、うるおう」をテーマに「学びの里 甲川まつり」を行いました。

この催しは、町の自主組織活動支援事業(モデル事業)を活用し、まつりの事務局(企画立案、当日までの準備等を「まちづくり 上中山地区会議」や「わたぼうしの会」、「麦の会」などで構成する実行委員会)で担いました。

当日は、物産の販売、お米の試食会、絵本の読み聞かせなど、子どもから大人まで楽しめるコーナーを設け、地域のみなさんをお迎えしました。

会場には、300人の方が集い、まつりは大盛況に終わりました。

今後も、地域の皆さんに喜んでいただける催しを行い、住民主体で行うまちづくり活動の認知度を高めながら、協力者や賛同者を募り、将来的には、上中山地区を支える地域づくり組織を設立したいと考えています。



▲熱く語る嵯さん

まちづくり御来屋地区会議

「嵯さんの講演会」と「昔の写真のスライドショー」で、昔を懐かしみました!

まちづくり御来屋地区会議では、御来屋の歴史を伝えることや、ふるさとを想う気持ちを育むことを目的に、御来屋3区の嵯佐志郎さんを講師に「御来屋の成り立ち」と題して講演会を行いました。

嵯さんには、隠岐島を脱出した後醍醐天皇が御来屋へ着かれたことから始まり、現在に至るまでをお話していただきました。御来屋の発展には、藩倉の存在が大きな役割を果たしたことや、御来屋駅ができるまでのエピソードなど、参加された方は嵯さんの話しに聞き入り、あつという間に時間が過ぎていきました。

講演終了後は、御来屋地区を撮影した古い写真をスライドにして上映。皆さんは「懐かしいなあ」とか、「へえ、昔はそげだったか」など感心することしきりでした。

まちづくり御来屋地区会議では、「御来屋のお話会」など、今後もふるさとの良さを伝える機会を計画します。